

# 令和元年度 「国有林モニターアンケート (第2回)」 調査結果

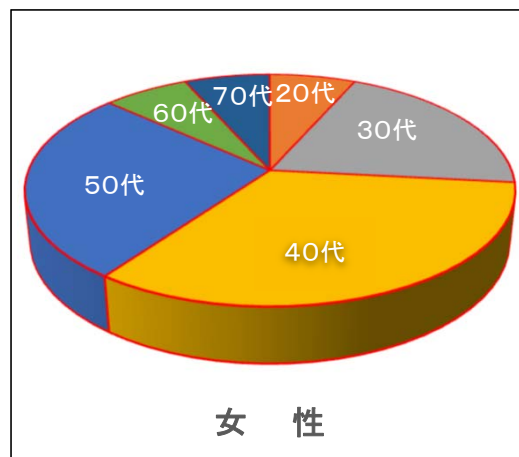
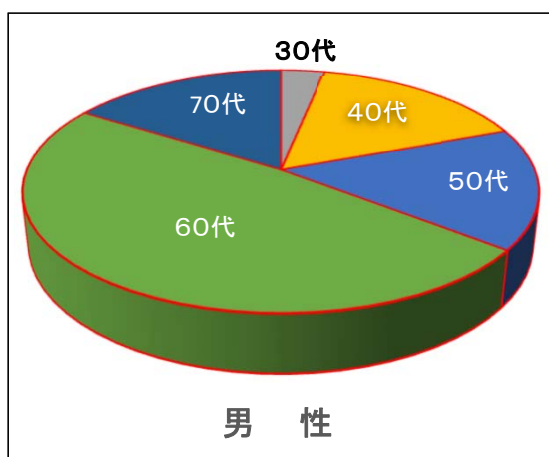
近畿中国森林管理局では、国有林モニターにご登録いただいている皆さまから、今後の国有林野の管理経営や広報活動の参考にさせていただくために、以下のアンケートにご協力いただきました。

今回は、11月に送付させていただきました「平成30年度 国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」の内容を中心として設問を用意し、記述での回答箇所を設けましたが、いかがでしたでしょうか。

調査時期	令和2年1月
調査方法	アンケート用紙の郵送による回答、ホームページ内のフォームでの回答
回収状況	アンケート依頼モニター数 63名
	アンケートの回答 46名
	アンケートの回答率 73%

ご回答いただいたモニターの年代別構成 (人)

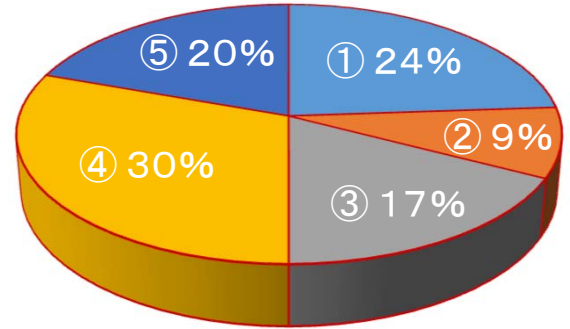
区分	男性	女性	計
10代	0	0	0
20代	0	1	1
30代	1	3	4
40代	5	5	10
50代	5	4	9
60代	15	1	16
70代	5	1	6
計	31	15	46



1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進(P8~P53)

(単位：%)

質問1		(1)公益重視の管理経営の一層の推進(P9~P26)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	重視すべき機能に応じた管理経営の推進(P9~P14)	11	24%
②	路網の整備(P15~P16)	4	9%
③	治山事業の実施(P17~P20)	8	17%
④	地球温暖化対策の推進(P21~P24)	14	30%
⑤	生物多様性の保全(P25~P26)	9	20%
計		46	



質問1	質問1で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
①	国有林がいろんなタイプ別に管理・維持されていて、人にも動植物にも優しい森林になっていくことを望む。
①	国有林野の機能類型区分ごとの目指すべき森林の姿が示されていたから。
①	国有林でも民有林でも機能に応じた管理を行うべきで、国有林の分類を民有林にも適用して管理する施策を検討して欲しい。
①	全国画一的な施策ではなく、その地域、その地方の特性に応じた事業を一層推進する必要がある。
①	国有林野の分布では、全国的に地域の格差がかなりあると感じた。
②	全国で実施してほしい。
②	人と繋がるための重要課題と思える。
②	木のある所へ行って、木の苗を植えることができるようにするためには、効率的な路網が必要で、山の管理も路網があつてこそできるような気がする。
③	国有林・民有林間の事業調整及び情報共有等を図り、治山事業を実施するところに関心を持った。
③	自然災害が多発する日本で、一番大切な事業だと思う。
③	治山事業の実施・推進は、林野庁の主導的役割が大きい。
③	台風、震災被害を考えると治山事業は重要。
③	民有林での積極的な事業実施も望む。
④	今年の少ない雪に不安を感じるため。
④	これからの世代の為に必達の責任です。
④	環境団体に所属しており、グローバルな視点で森林と二酸化酸素削減を考えてきたから。
④	近年多発している災害は地球温暖化によるものと言われているため。

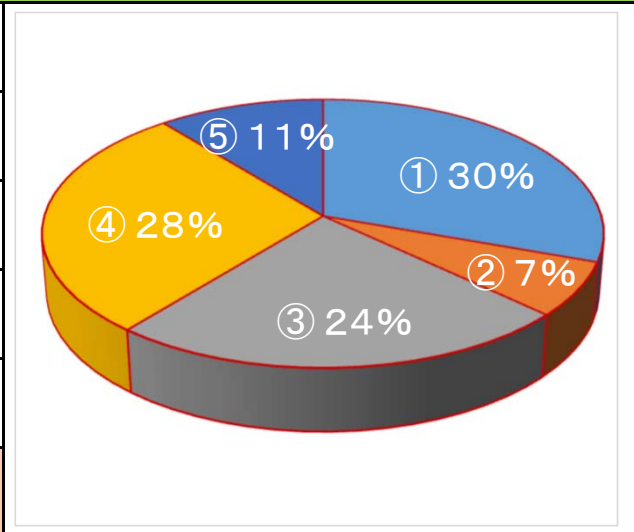
**質問1** 質問1で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ④ 毎年のように災害が発生し、多くの人々が苦しむのをニュースで見ると、次は自分の所かもとハラハラする。
- ④ 森林保全が叫ばれている中、オーストラリアの森林火災(自然災害)、ブラジリアマゾン川流域での火災(人的災害)等日本列島の4分の1程度が喪失しているのが空しく、CO<sup>2</sup>削減化の難しさを痛感した。
- ④ もともと地球温暖化問題については関心が高い。
- ④ 地球温暖化は生命を脅かす深刻な問題。
- ⑤ 共生したい。
- ⑤ 森林は国民にとってどのように活用されていくべきか、という観点はもちろん大切だが、同時にさまざまな動植物が身を寄せる場でもある。生物多様性の観点から育てていくことが肝要である。
- ⑤ 原始的な森林生態系や希少な生物の生育、生息地の保護は国の基本。林野庁において保護・管理していただき、孫、末代まで残してほしい。
- ⑤ 森はこれからも生命のゆりかごであるべきだから。
- ⑤ 国土の開発が進み、野生生物のすみかがなくなっている中、国有林の保護林の存在は大切。

(単位：%)

**質問2** (2)森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献(P27～P40)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。

①	林業の低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及(P27～P30)	14	30%			
②	林業事業者の育成(P31～P32)	3	7%			
③	民有林と連携した施業の推進(P33～P34)	11	24%			
④	森林・林業技術者等の育成(P35～P38)	13	28%			
⑤	林業の低コスト化等に向けた技術開発(P39～P40)	5	計		46	
計		46				



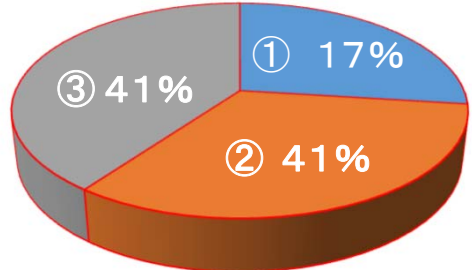
**質問2** 質問2で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ① 一番のネックになるのはコストだと思うので、低コスト化のモデル普及が大事だと感じる。
- ① サステナブル(維持できる)な林業の為には絶対条件です。
- ① 林業が衰退したのは主に人件費が見合わなくなったことであるが、低コスト・高品質化を徹底することで、海外勢とすみ分け、生き残ることは十分あり得る。
- ① コンテナ苗の植え付け作業の体験を各森林管理局からの交流事業の一環として、職員を北海道森林管理局に派遣すべきではないかと強く思った。
- ① 民間企業の参入に興味がある。
- ① 高下刈で効果があるなら、意識を変えないといけない。
- ② 数多くの現地検討会の開催状況に驚く。
- ② 若い力の必要性を感じる。

質問2	質問2で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>③ 先人から引き継いだ山林(財産区貸付林)が人口減少による過疎化、高齢化で管理は皆無の状況である。国に譲渡、官民で買上げ等により、今後は国有林化又は企業による森林保全がなされることを期待する。</p> <p>③ 民有林は我が県に限っても、未来を見据えた森林構成プランと管理が不十分と考える。</p> <p>③ 森林協同施業団地による民有林との連携に興味を持った。</p> <p>③ 民有林の現状打破のためには国有林事業の力が必要。</p> <p>③ 民有林の荒廃を目の当たりするため、どんどん進めて欲しい。</p> <p>③ 民有林をリードしていく役割を(林野庁は)担って欲しい。</p> <p>③ 民有林の所有者は高齢者が多く、先祖が植えた木を管理している人が多いのではないのでしょうか。先祖が山へ木を植えた時とは生活様式が全く異なり、農林業ではなくサラリーマンとして働いてきた人が定年後に林業に入ろうとしても知識も、木を伐る方法も、どこへ頼ればいいのかもわからない人が多いと思います。ずっと林業を守ってきた国有林関係者が民有林所有者へ施業の数々を教える必要があると思います。</p> <p>③ 害虫駆除の際に国有林だけ防除を行っても意味がなく、事の重大性を隣接する山林の地権者にも理解させ、協力を得ながら事業を進めていく必要がある。</p> <hr/> <p>④ 正しい知識と技能を有する技術者の育成こそが重要。</p> <p>④ 次世代に繋げ、継続することが必要。</p> <p>④ 危険な作業もありますが、地域の人とも協力して未来の人材が育ってほしい。</p> <p>④ 次世代育成は林業でもさらなり。「暮らし」と「誇り」をどう担保できるか。</p> <p>④ 林野の再生事業には終点がなく、しかも人手で地道な取組と考える。</p> <p>④ どの分野でも後継者の育成は重要課題であり、P37の写真を見て女性や若い人の意見を聞いてみたいと思った。</p> <hr/> <p>⑤ 早く市場に出して欲しい。</p> <p>⑤ コストを低く抑えられるのなら、それにこしたことはない。</p>

( 単位 : % )

質問3	(3)国民の森林としての管理経営(P41~P52)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。		
①	双方向の情報受発信(P41~P42)	8	17%
②	森林環境教育の推進(P43~P46)	19	41%
③	森林の整備・保全等への国民参加(P47~P52)	19	41%
計		46	



※四捨五入により100%にはなっておりません

質問3	質問3で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
	<p>① 官と民の双方向の行動が要となる。</p> <p>① 国有林モニターをしてみて初めて知ったことがたくさんあったし、一般の人はこう思っているんですよというチャンスを与えてもらったことは良かった。「私のように思っている人が大勢いますよ。」という内容を発信できたと思う。</p>

**質問3 質問3で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。**

- ② 森林環境の大切さを次代へ繋げるために、教育の推進が大切。
- ② 子ども達に森の生物や循環を教える良い機会と考える。
- ② 自分の子供の頃には森林環境教育はなく、今の子供がうらやましい。
- ② 幼少期から森林に関心が持てる機会を持つことで、将来的に環境保全への意欲を高めると考えるから。
- ② 国土保全に関心を持てる良い機会となる。
- ② 可能ならば地域の学校と協定を結び、さまざまな体験してほしい。
- ② 子供の頃から自然の中で生きる力を育むことは、防災協力にも繋がる。今後ますます必要になってくる。
- ② 親子木工教室を開くのなら、一般の参加もOKというイベントにして欲しい。
- ② 子供の頃からなじめば、携わる意識が強まるだろう。そして、そのような中からより良い森林の在り方が見えてくれば、今後の国有林維持に必ずプラスとなる。

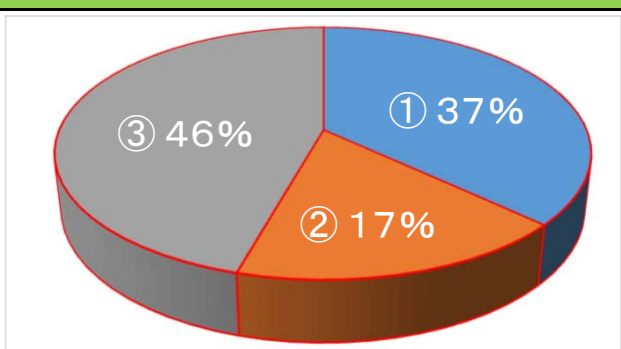
---

- ③ 国民一人一人の理解がないと維持できないので最重要課題です。
- ③ 木の文化を支える森の基準は、どこにあるのか知りたいと感じた。
- ③ 他人事でなく、身近に感じてもらえることが大切。
- ③ 森林環境の大切さを次代へ繋げるために、教育の推進が大切だと思う。
- ③ 林野行政の重要性が一般国民に十分浸透されていない。国民参加により、認知度を高めることが必要。
- ③ 行政や技術者だけでなく、国民自らが参加すべき事柄である。
- ③ 様々な企業が環境に係る取組を行っているが、植林した後の手入れをしていないところも多くある。
- ③ 「ふれあいの森」や「木の文化を支える森」などを設定して国民参加の場を提供しているところに関心がある。
- ③ 体験的(参加型)理解をしっかりとベースメント(下部構造)に持てる分どうか。
- ③ 森林整備にボランティアを活用してはどうでしょう。
- ③ 教育も必要だが、分収林制度等で皆が直接参加できる方がより身近に意識できると思う。
- ③ 国民へのPRを兼ね、広く事業への参加を呼びかけて、興味と認識を図る事は地味ではあるが重要な事だと思う。

**2 国有林野の維持及び保存 (P54~P69)**

(単位：%)

質問4 (1)森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理(P55~P60)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。			
①	森林の巡視及び境界の保全 (P55~P56)	17	37%
②	森林病虫害の防除 (P57~P58)	8	17%
③	鳥獣被害の防除 (P59~P60)	21	
計		46	

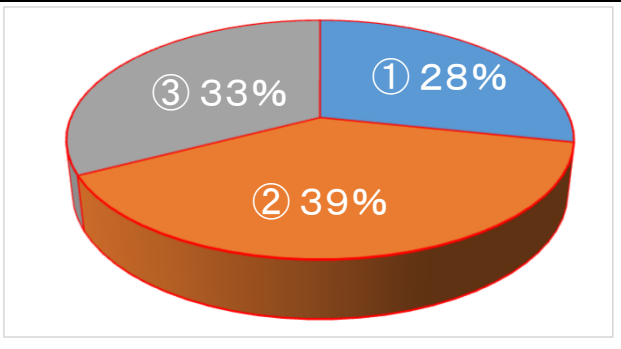


**質問4** 質問4で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ① ボランティアを募って手伝ってもらえたら実施が可能と思う。
  - ① 官民でも、民民でも、境界確定と保全が基本であると思う。
  - ① 地道な活動ではあるが、ドローンの活用や防護柵の設置など工夫して効率よく管理を進めていてもらいたい。
  - ① 森林の実態把握が必要であるが、関連人材の減少や縮小で、過去に比べて巡視・監視が十分できていない。ドローンや人工衛星などの活用に加えて、人員の増強が必要。
  - ① 巡視・保全がひいては防除に繋がる。
  - ① グリーンサポートスタッフ(GSS)などの様々な方の取り組みを知ることができた。
  - ① グリーンサポートスタッフを増やしてほしい。
  - ① 以前に所有する山林の案内を受けたが、今では該当区域がわからない。改めて維持管理の重要性を感じる。
  - ① 登山者にゴミの持ち帰り等を啓発するイベントを計画してほしい。
- 
- ② なるべく人体への悪影響のない方法で、病害虫の駆除ができるように研究開発をしてほしい
  - ② 環境には配慮した手法を望む。
  - ② 地味ではあるが最優先課題です
- 
- ③ 最近ではクマを始め野生動物の被害が目立つようになりました。その原因は森に餌がないから。樹種と森林構成、管理、その防除に興味を持ったから。
  - ③ 地域によりシカ被害による影響の差が大きいと感じた。
  - ③ 今年ほどクマの出現におびえたことはなかった。あんなにたくさんの注意の看板を見たことはなかった。
  - ③ 市街地に隣接する“里山”での被害は深刻です。
  - ③ 長期的な取組と地域の協力が不可欠。
  - ③ 野生動物の駆除は、生態系も崩れるかもしれませんが、人体に被害も出ています。
  - ③ 猟友会にも情報提供がほしい。
  - ③ 山の中で暮らす者にとっては本当に切実な問題です。

( 単位 : % )

質問5		(2)「保護林」など優れた自然環境を有する森林の維持・保存(P61～P69)の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	「保護林」の設定及び保護・管理の推進(P61～P62)	13	28%
②	「緑の回廊」の整備の推進(P63～P66)	18	39%
③	希少な野生生物の保護の推進(P67～P69)	15	
計		46	



**質問5 質問5で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。**

- ① 保護林の設定の方が最も大切。
- ① 我が山口県には保護林もないようだが、設定されているところでは大切にすべきである。
- ① 今後も厳格な保護・管理をお願いしたい。
- ① 古い林政制度や法規を見直して、保安林を含む保護林の必要性と諸基準を見直すことが必要。
- ① 残されたものを未来に繋げるため、保護林に絞った保護・管理に集中することから始めるべきと感じる。
- ① 人工林ばかりが美しいのではない。自然のままの美もある。保護するには自然林のままがよいと思う。

---

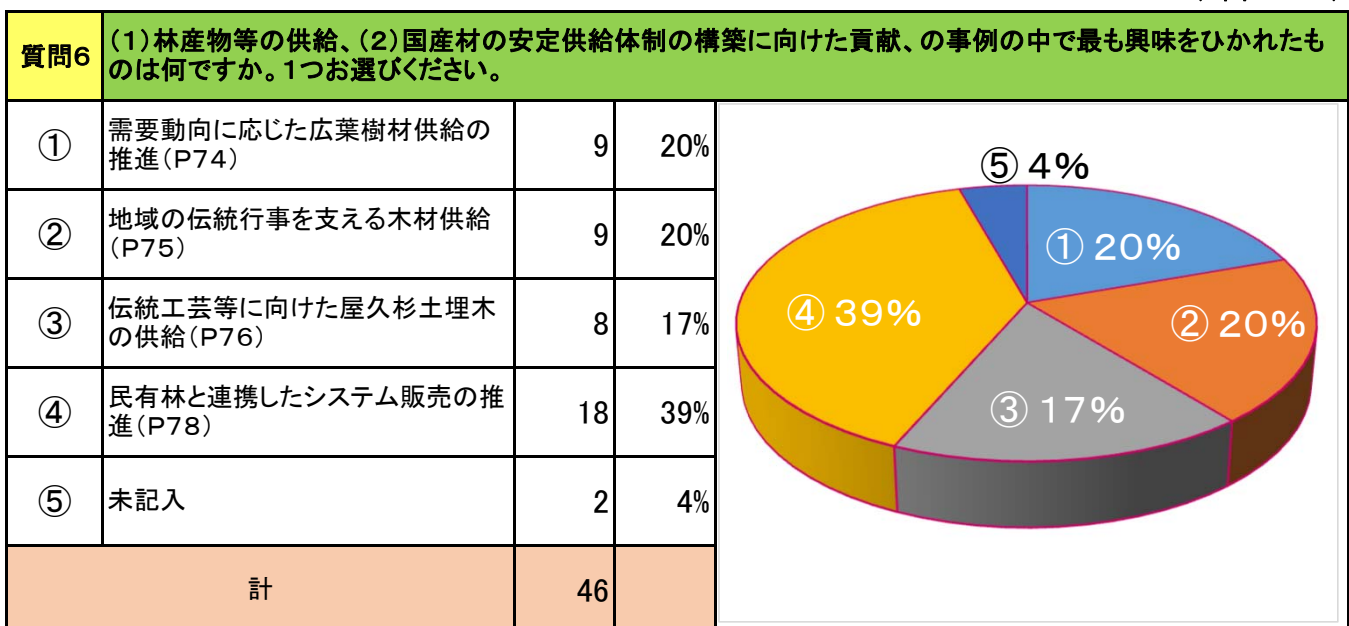
- ② 「保護林」と「緑の回廊」の分布図を見ましたが、ここでも東日本と西日本では、面積の偏りが大きいと感じた。
- ② 「緑の回廊」と言うフレーズが好き。初めて聞いた名称。
- ② 緑の回廊の設置は動物の生命線、そして豊かな国土を実現するためになくてはならないものとする。
- ② 緑の回廊を通じて森林の大切さを知ってほしい。
- ② 「緑の回廊」というイメージは大切。
- ② 国有財産だと認識することが大事。
- ② 緑の回廊の延長によりクマやシカの居住地域への出没も減り、野生生物との共存が図れるのではないかと。
- ② 自分が若いときにはあまり感じなかったことが、今とても大切に思えるようになった。忙しくて森の生き物について聞いても、次の日には忘れていたが、この年齢になって、森の一つ一つの取り組みの大切さがわかるようになった。手遅れかもしれませんが。

---

- ③ 地球温暖化によって絶滅危惧種が増えるなか、野生生物の保護の方法を知りたい。
- ③ 一度破壊された環境は元に戻らないことから、地域住民やNPO等と連携して見回り等を実践して欲しい。
- ③ 目立たない活動だと思いますが、日本の将来のために大切なことだと思う。

**3 国有林野の林産物の供給(P70~P79)**

(単位：%)

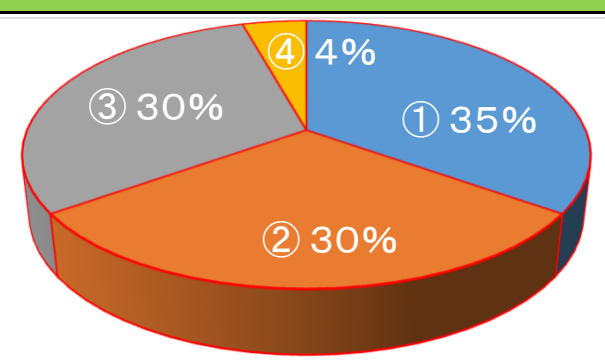


質問6	質問6で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
①	効果が最も大きいと感じる。
①	もっと木材を使ってもらえるきっかけにもなる。
②	日本の伝統行事に使う木材が少なくなって、外国から入手したような話を聞くため。
②	地元あつての森林政策である。
②	文化財を守る、伝統行事を支える部材の確保は喫緊の課題。
③	木と日本人との生活風土の深い関わりを感じる。
③	屋久島の大切な屋久杉なので、島内の工場を対象に供給されることはとてもよい。
④	民有林と連携したシステム販売による木材供給量の表を見たが、平成29年度に比べて、平成30年度はいずれの数値も増加している点に各森林管理局の努力と成果が反映された結果だと感じた。
④	副産物を含め、材木の新流通システムを構築して、後継者に夢を持たせるような林業全体の近代化を図って欲しい。
④	システム販売協定量の拡大が数字で上昇しているようなので、良好だと思う。
④	民有林との連携によってスムーズな販売が推進できることが大切と思う。
④	国有林といえども森林が生み出す物は国民に販売しても良いと思う。
④	安定した供給システムと安価な需要がほしい。
④	民有林との連携により大規模化、低価格化を進めるべき。
④	国、県、民間の三者による密な連携こそが求められる。
④	木材価格に影響するため地域を広げての連携を図ることで、木材の安定供給にも寄与することができる。

#### 4 国有林野の活用(P80~P85)

(単位：%)

質問7	(1)国有林野の活用の適切な推進、(2)公衆の保健のための活用の推進、の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。		
①	地熱発電事業のための国有林野の貸付け(P82)	16	35%
②	都市部におけるレクリエーションの森の広報(P84)	14	30%
③	動画による「日本美(にっぽんうつく)しの森 お薦め国有林」の魅力の発信(P85)	14	30%
④	未記入	2	4%
計		46	



※四捨五入により100%にはなっておりません

質問7	質問7で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
①	原発反対の立場からすると、再生可能エネルギーである地熱発電のために国有林野が活用されることは賛成である。
①	日本は火山国、地熱発電はインフラ費用を考えると、民営が選択肢としていたらベストかも。



質問7	質問7で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
<p>① 国有林野の用途別売り払い状況の表を見たが、平成29年度に対して、平成30年度が大幅に増加した理由の背景には何があるのか。</p> <p>① 日本は火山列島の割に地熱発電が少ない。</p> <p>① 再生可能エネルギーの安定供給の実現。</p> <p>① 地熱発電機器メーカーはあるのに、機器の設置が少ない理由が知りたい。</p> <p>① 電力供給源の多様化の一つとして有効。</p> <p>① 現代社会は脱CO<sub>2</sub>が叫ばれ、石油の使用をとやかく言われてはいるが、国有林の中にはもっとも活用できる物があり、提供できる土地もあるだろう。</p> <hr/> <p>② 人としての暮らしの為の緩衝材は重要である。</p> <p>② 「日本美しの森 お薦め国有林」等まだまだ身近にお薦めの国有林がある。「山の日」も休日になったので、林野庁が行っている身近かなことから、国民に興味を持ってもらう工夫が大事と思う。</p> <p>② 最も身近に感じられた。</p> <p>② 都市部でも森林について考えるきっかけになる。</p> <p>② 都市部でなくてもこのような情報が身近にあれば、もっと親近感がわくのでは。</p> <p>② 都市部からのアクセスの良い国有林に限定されることになるが、「開かれた国有林」をPRするには最も有効だと思う。</p> <hr/> <p>③ 日本各地の森林の魅力を改めて気づかされた。</p> <p>③ 森林の魅力を感ずることで、森林の重要性を感性として持たせるようにするべき。</p> <p>③ 動画にすることで全く知識がない人でも情報が入りやすく、CMとして放映することでより多くの人の目に止まると思う。</p>	

## 5 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全(P86～P89)

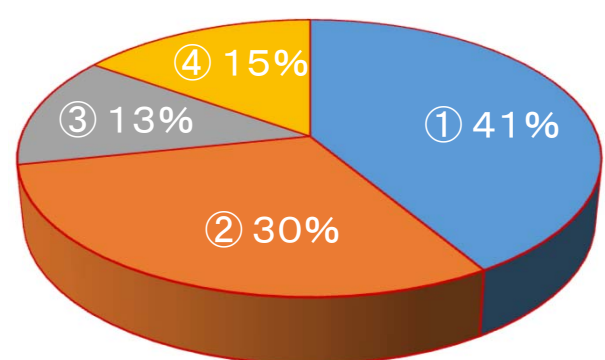
質問8	ご意見等がございましたらご記入ください。
<p><input type="radio"/> より一体化を推進してほしい。</p> <p><input type="radio"/> 民有林野の重要性をもっと知ってもらう活動が必要。</p> <p><input type="radio"/> 国有林に隣接する民有林が、所有者の放置により国有林に悪影響を及ぼしている場合は、民有林の所有者から、適切な負担を求めるべきではないか。</p> <p><input type="radio"/> 相続問題、海外勢による買い占め対策、民有林の諸問題は頭を悩ませる。</p> <p><input type="radio"/> 国有林の整備・保全は先進国並みに素晴らしい。</p> <p><input type="radio"/> 公益的機能維持増進経営の締結状況の表を見たが、協定数20の内、協定終了数が約半数の9箇所もある点に不安を感じた。</p> <p><input type="radio"/> 林道等の関連施設の整備が効率的に施工できるため、可能な限り一体化して整備すべきである。</p> <p><input type="radio"/> 民間が主導とならないのであれば賛同する。</p> <p><input type="radio"/> 自分の所だけやっていたらよいということではない。</p> <p><input type="radio"/> 民有林の放置は災害に通ずる。</p> <p><input type="radio"/> 国有林と民有林の整備は、治山事業と共通する重要なこと。</p>	

質問8	ご意見等がございましたらご記入ください。
<p>○ 森林保全は官(公)民の領域をこえて一体的・シームレスが原則。</p> <p>○ 山林財産を保有している地域財産区に対して、森林保全を維持していくために、国からの支援を期待する。地域で任された山林財産を限られた住民で維持管理するには限度がある。</p> <p>○ 国有林を守るために、害となる民有林に税金を使っているように感じる。</p> <p>○ 所有者が不明な民有林を含めた保全でなければ意味がない。</p> <p>○ 昨今の異常気象による災害などに対して、民有林と一体として整備する必要性はより大きくなっていると思う。</p> <p>○ 国の施策がなかなか庶民の所まで届かない。</p> <p>○ 私の実家も山を所有しています。両親が亡くなった後、誰かが維持・管理することになると思うのですが、管理していくことができない時に相談する窓口があると嬉しいです。</p> <p>○ 民有林の所有者にメリットを訴え、プラス面がわかる説得材料の確保が大事だと思う。</p>	

## 6 国有林野の事業運営(P90～P97)

(単位：%)

質問9	この項目の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。		
①	民間委託の推進(P91～P92)	19	41%
②	情報システムの活用(P93～P94)	14	30%
③	計画的かつ効率的な事業の実行(P95)	6	13%
④	安全・健康管理対策の推進(P95～P97)	7	15%
計		46	



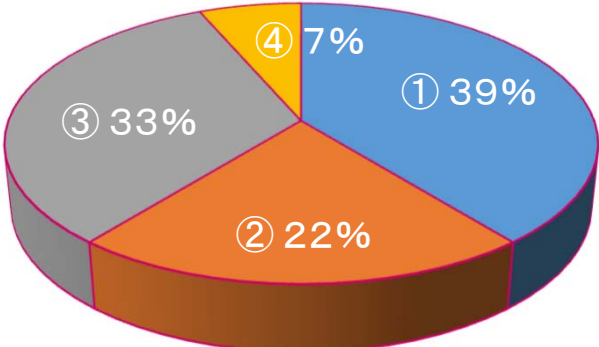
※四捨五入により100%にはなっておりません

質問9	質問9で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
<p>① 請負事業者による重大事故が起きやすいので、考えものです。</p> <p>① 民間の力をもっと活用できる施策が必要。</p> <p>① 民間でできることは民間に委託することが重要である。</p> <p>① 民間委託は競争力が働くので、どのような分野でもプラスに出ると思う。しかし、利用する場合でもカラ事業の無いよう、しっかりと監視はしてもらいたい。</p> <p>① 請負事業などにおける重大な災害の発生状況の内容として、1の死亡災害事故から5のその他まで記載されていましたが、1から5の内容区分・件数の内訳が分からない点に不満を感じた。</p> <p>① 民間委託となることに強い不安を感じる。</p> <p>① 民間活力が導入できるかどうかという大前提が不安なのは。</p> <p>① 積極的に民間の資源を活用したらよいと思う。</p> <p>① 安全に配慮した民間委託を望む。</p>	

質問9	質問9で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
①	民間とともに行動せねば、国有林のみがよくなってもアンバランスである。
①	自分も仕事として委託される側になりたい。
①	民間にも国有林野の重要性を広めて欲しい。
①	民間に委託することで職員の負担が減り、いいアイデアを生み出すことになる。更なる研究の余裕も生まれる。
②	無人航空機等で地形を上空から撮影して、立体的な図を作りあげることができるのがすごい。
②	海外を含めて、情報の共有は必要。
②	同じ山であっても所有者が国と民間とに分かれていた場合、片方のみが様々な施策を取り込んでも、トータルでは意味をなさない。
②	災害が増えているため、効率よく災害の状況が調査できそうだから。
②	上空からの情報は重要だと感じた。有効に活用するべきだ。
②	山の状態を見るのにドローンは最も手軽で、正確に教えてくれる。情報システムの活用は必要不可欠のものであると思う。
③	過去からの状況を説明して、国民に現状を知らせて理解を深めることが必要。
③	継続していくことは難しい。
④	職員の災害と係わる人材の安全に努めてほしい。
④	災害の多さに驚く。

## 7 その他国有林野の管理経営(P98～P107)

(単位：%)

質問10	この項目の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。			
①	人材の育成(P99～P100)	18	39%	 <p>※四捨五入により100%にはなっておりません</p>
②	地域振興への寄与(P101～P102)	10	22%	
③	東日本大震災からの復旧・復興への貢献(P103～P106)	15	33%	
④	関係機関等との連携の推進(P107)	3	7%	
計		46		

質問10	質問10で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
①	なんといっても人材だと思う。人材育成こそが原点である。
①	全てに帰結する課題です。
①	残念ながら、国民の認知度が低い。もっと効率的な広報活動を行い、関係職員のモチベーションを高く保って欲しい。
①	人づくりが重要であるというのが、私の主張。
①	どこの業界も人材の確保が重要だが、AIやロボットが代わりに活用できれば良い。

**質問10** 質問10で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。

- ① 次世代育成は林業でもさなら。「暮らし」と「誇り」をどう担保できるか。
- ① 第一次産業に携わる人が減少している中、このような取り組みは有効と思われる。
- ① マンパワーがなければ何事も広がらない。
- ① 人材育成は低コストでという割り切り方ではなく、十分な時間と予算を確保することから始まる。
- ② 地方自治体によって、民有林への関与に温度差を感じる。また、子ども達への森林環境教育への取り組みも都会のそれと大きく違う。大人向けの環境広報活動も予算削減で県民の多くは関心がなくなってきたように思う。林野庁から適切なアドバイスや民有林と国有林との情報交換などしてはいかがでしょうか。
- ② 地域の発展があつてこそその国有林事業と思う。
- ③ 被災した海岸防災林の再生の取り組み状況では、4年前と4年後の比較写真が掲載されていて、一目瞭然で違いがわかった。
- ③ 原子力発電所が近くにあるので他人事とは思えない。
- ③ 災害は、いつ、どこで発生するかわからない。復興も人ごとだと思えない。
- ④ 森林経営管理制度のスタート等、今後林野庁のリーダーシップがますます必要になってくると思われるので、より一層の関係機関との連携を望む。

**質問11** 「国有林野モニター事業」についてお気づきの点がありましたらお聞かせください。

- (第2回のアンケートの中で)大切なことがたくさんあるので、回答を「1つ選ぶ」というのは難しい。
- 普段なじみのない人にこそモニターとして国有林のことを考え、現地で触れて、意見を構築して発信していくべきと考える。
- 林野庁の職員の仕事、特に、国有林の森林管理がこれほど計画的で総合的、海外まで幅広くされているとは考えてもいませんでした。私は環境団体の会長をしていた時、欧米の環境教育や森林管理を視察する機会があつて、日本の環境教育はまだ遅れていると感じたものでした。ただ、この1年森林環境教育のレポートを読んで、国有林の中での子供森林環境教育は大変素晴らしく、もう先進国に追いついたといった率直な感想を持ちました。モニター事業は継続的に実施することで、国民への理解が広がると思う。
- 送られた文書を読んで感想を送るだけというのは正直辛いです。地方の国有林モニターは車を持っていると思うので、各地の林業イベントを毎月紹介していただき、興味があれば国有林モニターとして参加し、感想を述べる方が良いと思います。
- 国有林モニターになったことで「日本美しの森 お薦め国有林」を知ることができた。
- 定期的に送られてくる資料に対して意見等を述べるという「ペーパーモニター」的な制度であることを感じる。四半期ごとにテーマやエリアをクロスさせて視察、企画された方がよいのではないか。
- わからないことには回答してくれるところがありがたい。
- いろんな方にモニターをやってほしいが、働いている方にはきついかもしれない。
- 送っていただく活動や取り組みなどの冊子は、一般的に配布されているものでしょうか。丁寧に作られた「こだま通信」など広く見てもらえれば良いのと思います。
- 自然災害への対応、対策の事実を初めて知る機会となった。
- (送られてきた冊子の)巻末にある「用語の解説」がわかりやすくてためになった。
- モニターから寄せられた意見で具体的な取り組みや改善につながった事例はあるのか。他のモニターの方の声が聞いてみたい。
- モニターになろうという方は、もともと興味を持っている方ですが、それ以外の人にどのように発信していくかが課題と思います。
- 森林でのイベントにボランティア等での参加の仕方が紹介されると思いモニターになろうと思ったが、何の募集もなく残念でした。せっかく近くに国有林があるのに積極的に参加できる環境を作してほしい。

**質問11 「国有林野モニター事業」についてお気づきの点がありましたらお聞かせください。**

○ 「林野」の記事に森林経営管理制度の進捗状況、市町村の取組状況の内容を多く入れて欲しい。また、モデルケースとして森林経営管理制度に取り組んでいる市町村の見学はできないでしょうか。

○ 国有林モニターでいろんな事に気付いたり、取組みがわかったけれど、さて今から自分が何をするかと考えたら、資金面等で何も取り掛かることはできない。しかし近くにある魚の棲む小川、小川の兩岸の森と細いあぜ道、近くの自然、温泉、田んぼ……。こういうものを組み合わせて小さなリゾートエリアを作ればいいという一つ理想を持つことができた。

○ 国有林に対する様々な取組みが全国で行われていることがわかった。中でも子供たちに行っている取組みは、目を見張るものがあり、柔軟なアイデアで個性的な取組みを伝える記事をたくさん目にする事ができました。

**その他 国有林モニターの皆さまから様々なご意見をいただきました。**

○ 防風林や砂防林と同様に、今後は毎年発生する川の氾濫、津波などの対策のために水防林なるものが必要ではないか。

○ 義務教育期間に体験、実践できる森林環境教育の体系を文部科学省とともに検討していただきたい。

○ 自然災害などに対して、国土交通省と同等以上に活躍しているが、マスコミに取り上げられていない。

○ 累積債務の償還は、林政のみでは限界がある。国政全体の中で再考すべきであろう。

○ 森林の整備について、税金を納めるのか労働奉仕で代えるのか考える時が来ている。

○ 作業員の高齢化が進んでいる中、若手育成の結果を求めてほしい。

○ 今後10年で作業員も減り、山の手入れは作業道がある区域がメインとなり、それ以外はもっと荒れそうな気がする。国有林以外の小さな事業体は、今後は模索中です。

○ 昔は大雨が降っても谷の水は濁らず、田畑に流れていたそうです。しかし現在は土砂も流れ、水路や谷が埋まってしまう。どうすれば山からきれいな水が流れるのか、国有林から実証してほしい。山の手入れの指導も期待する。

○ 災害時に、障害者や小さな子供を預けられる施設を国有林の中に作ってはどうか。

○ テレビで伝えられる鳥獣被害を見るたびに心が痛みます。森林が整備されれば、大きな被害にならなかったのかもしれませんが。被害を防ぐために罠や捕獲も大事ですが、荒れた山の整備が必要なのではと思いました。

**以上、令和元年度国有林モニターアンケート(第2回)調査結果でした。ご協力ありがとうございました。**

